

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0407	生産施設等整備事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 23 年度 ~ 平成 26 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

《事業目的》
生産施設等の支援による担い手の育成と産地拡大

《事業開始の背景》
花巻農業の持続的発展を進めるため、担い手の育成と農畜産物の産地拡大が必要である。このことから、生産施設等の効果的な活用による経営改善を行い、経営環境の改善に係る支援を行っている。

《事業概要》
《いわて地域農業マスタープラン実践支援事業（県）》
農業用施設・機械の整備への補助
 ・ぶどう棚、防風網（1.3ha）【大迫ぶどう協会】
 ・自動灌水装置（24台）【花巻園芸生産組合】
 ・アスパラガス圃地造成（0.96ha）【花巻アスパラ生産組合】
 ・定植機（1台）、掘取機（2台）【花巻玉ねぎ生産組合】
 ・給水施設（一式）【花巻市酪農環境改善組合】
 ・飼料生産機械（2台）【太田粗飼料研究会】、同（1台）【新堀草地組合】

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 事業実施主体の農産物等の販売（生産）量の増加率	%	目標	5	5	
		実績	21	11	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	農林部	農政課	菊池正彦	6-284

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		14,671				
財源内訳	国県支出金	9,842				
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,829				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

・花巻市いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 14,671千円

いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(県) 平成25~27年度

- ・目的 認定農業者、集落営農組織の育成・確保・産地拡大
- ・対象 集落営農組織、参入企業、認定農業者、青年農業者
- ・補助率 機械・施設 1/2(うち県2/3 市1/3) [⇒事業費の1/3が県、1/6が市]
基盤整備 2/3(うち県3/4 市1/4) [⇒事業費の1/2が県、1/6が市]

補助対象 機械施設 6件 27,804千円 × 1/2 = 13,902千円
基盤整備 1件 1,153千円 × 2/3 = 769千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0407	生産施設等整備事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
	1		1-1	
目的	生産施設等の支援による担い手の育成と産地拡大			
対象	農業者の組織する団体等			
意図	経営の複合化・多角化、基盤強化、産地拡大、6次産業化を進める			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

《いわて地域農業マスタープラン実践支援事業（県）》
 農業用施設・機械の整備への補助
 ・ぶどう棚、防風網（1.3ha）【大迫ぶどう協会】
 ・自動灌水装置（24台）【花巻園芸生産組合】
 ・アスパラガス園地造成（0.96ha）【花巻アスパラ生産組合】
 ・定植機（1台）、掘取機（2台）【花巻玉ねぎ生産組合】
 ・給水施設（一式）【花巻市酪農環境改善組合】
 ・飼料生産機械（2台）【太田粗飼料研究会】、同（1台）【新堀草地組合】

----- [対象外] -----

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input checked="" type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 事業実施主体数	経営体	計画	6	5	
		実績	5	7	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 事業実施主体の農産物等の販売（生産）量の増加率	%	目標	5	5	
		実績	21	11	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
事業実施から3年後を目標に5%以上の増加する計画が必須条件となっている。				

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

・事業要望はあるが県の予算配分が要望に対応できない状況である。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・農畜産物の生産性の向上による産地拡大を推進するため、負担区分が県1/3、市1/6の県の施策である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・導入された施設等を効率的に活用することで、販売量の増加が可能となる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	・担い手農業者等を支援する県単独の事業であることから、県の交付要綱に基づき負担を行っている。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	・事業要綱により受益と負担の区分が明確化されている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

担い手の育成や産地拡大のために施設・機械等を導入し、効果的に運用することにより経営環境の改善が図られ、販売量等の増加につながった。